

「『ドレミの歌』から」

中津市長 奥塚 正典

「ドはドーナツの『ド』、レはレモンの『レ』、ミはみんなの『ミ』」で始まるおなじみ「ドレミの歌」。映画「サウンド・オブ・ミュージック」で家庭教師役ジュリー・アンドリュースが子どもたちに音楽の楽しさを教える歌です。

実は私にとって思い出深い映画です。学生時代、英会話の勉強に最適のミュージカル映画として薦められ、今でも覚えているセリフもあります。舞台となったアルプスの山並みにも惹かれました。また、「マイ・フェア・レディ」も忘れられません。主演女優オードリー・ヘップバーンの魅力に加え、題材の一つが美しい英語ですからレコードを買って演奏曲を口ずさんだものです。

子どもの時の懐かしい映画は「モスラ対ゴジラ」。異次元の世界に不思議な興奮を覚えましたが、最新作は「シン・ゴジラ」として登場しました。また、高校時代の学校観賞映画「祇園祭」は、京都の祇園車を青竹で方向転換する場面がやけに印象に残り、後に本物を見た時は感動しました。

このように非日常の世界や深い歴史、自分の知らない奥行のある世界、人の多様性と美しさなどから夢や想像を掻き立て知的興奮やうるおい・楽しさを与えてくれるのが映画なのでしょう。

今、市民の皆さんから「中津に映画館がなく大分や小倉まで行かないと見たい映画が見られない」とよく言われます。確かに中津で親子、家族、カップル、映画ファンが映画を楽しむことができれば中津の魅力が増しますね。



「ドレミの歌」で次に続くのは、「ファイトの『ファ』」です。英語では「Far (遠い)」で、「遠くて長い道を守る」と歌われます。「中津で映画」は難題ですが、実現に向け何か打つ手はないものかファイトを持って考えていきたいと思います。